

ルイジアナの森には
今でも魔法が生きている。

両脚の自由を失った女優と
心に傷を抱えた看護婦。
都会の生活を追われた二人の女性を
アメリカ南部の水と緑が
優しく包み込んでいく。

「フィオナの海」の名匠ジョン・セイルズ監督作品

パッション・フィッシュ



MARY McDONNELL ALFRE WOODARD
A JOHN SAYLES FILM

PASSION FISH

'92 アカデミー主演女優賞ノミネート(メアリー・マクドネル) アカデミーオリジナル脚本賞ノミネート(ジョン・セイルズ)

メアリー・マクドネル ● アルフレ・ウッドワード ● デヴィッド・ストラザン ● アンジェラ・バセット ● ヴォンディ・カーティス・ホール

製作 マギー・レンジ/サラ・グリーン ● 監督・脚本・編集 ジョン・セイルズ ● 撮影 ロジャー・ディーキンス ● 音楽 メイソン・デアリング ● 総指揮 ジョン・スロス ● 配給 大映株式会社

● サントラ盤 キュールレコーズ

MIRAMAX FILMS PRESENTS AN ATCHAFALAYA FILMS PRODUCTION "PASSION FISH"

MARY McDONNELL ALFRE WOODARD LEO BURMEISTER VONDIE CURTIS-HALL DAVID STRATHAIRN

CASTING BARBARA HEWSON SHAPIRO MUSIC MASON DARING COSTUME DESIGN CYNTHIA FLYNT

PRODUCTION DESIGN DAN BISHOP AND DIANNA FREAS DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY ROGER DEAKINS, A.S.C.

EXECUTIVE PRODUCER JOHN SLOSS PRODUCED BY SARAH GREEN AND MAGGIE RENZI

WRITTEN, DIRECTED AND EDITED BY JOHN SAYLES

CCO QUALITY PICTURE

MIRAMAX
FILMS

©1992 Miramax Films Inc. All Rights Reserved.

MARY McDONNELL ALFIE WOODARD
A JOHN SAYLES FILM
PASSION FISH
The future is in the palm of your hand.

パッション・フィッシュ



「フィオナの海」の名匠 ジョン・セイルズが贈る、 人生への応援歌。

「フィオナの海」で、アイルランドの妖精伝説をモチーフに、少女の成長と家族の絆を描いたジョン・セイルズ監督は、そのまなざしを常に社会のマイノリティに注いでいる。「パッション・フィッシュ」は、セイルズ監督がアメリカ南部に伝わるケージャン文化に着目し、全編をルイジアナ州の沼地で撮影した“癒しと再生”の物語だ。二人のヒロインは、人生の半ばにして自分の道を失ってしまう。一人は交通事故で、そしてもう一人は麻薬の誘惑で…。大きな挫折の中で苦しむ二人の女性は、都会の生活を逃れルイジアナの川のほとりで暮すうちに、忘れかけていた多くのことを思い出す。恋、友情、夢、希望…そして、自分たちの人生がまだ終わってはいないということ。

メロドラマのスターと寡黙な看護婦の出会い

テレビのメロドラマで知られるメイ・アリスは、交通事故で突然下半身不随になってしまう。女優人生を絶たれた彼女は、故郷のルイジアナに帰ることを決める。だが両親も既になく、長い間空家になっていた古い屋敷は、車椅子の生活には向かなかった。一生立って歩くことができないと知ったメイ・アリスは、リハビリを拒否する。アルコールとテレビ漬けの毎日を送る、メイ・アリスの自暴自棄な生活ぶりに、付き添い看護婦は次々にさじを投げる。

やがて何人目かの看護婦として、黒人女性シャンテルがやってきた。寡黙で強い意志を秘めたシャンテルは辛抱強くメイ・アリスと向き合う。始めは激しくぶつかっていたメイ・アリスも、彼女に親しみを感じるようになる。だがシャンテルはどこかで心を深く閉ざしていた。シャンテルもまた、心に傷と秘密を抱え、都会を逃れてきた女性の一人だったのだ…。



豊かな緑とゆるやかに流れる川、 “ケージャンの大地”ルイジアナ

それぞれの理由で都会を離れた二人の女性の交流の舞台に、ジョン・セイルズは“ケージャンの地”ルイジアナ州南部の低湿地帯を選んだ。この土地には18世紀末に英国人によってカナダ東南部を追われて定住したフランス系住民、ケージャン人の文化や音楽が色濃く残されている。

メイ・アリスとシャンテルは、始めは世間を避けて生活しようとするが、やがてケージャン人の末裔である二人の男性が、彼女たちを緑と水を湛えた世界へ、また心躍るザディゴ（ケージャン音楽）のリズムへと誘って行く。一人はメイ・アリスが少女時代にひそかに憧れていたレニー。そしてもう一人は、シャンテルが出会うカウボーイのシュガー。彼女たちはこのワイルドな紳士たちによって、久しく忘れていた恋心を取り戻す。

レニーが二人をボートで案内する沼地には、むせ返るような木々の緑、ワニ、魚、ふくろう等の生命力が溢れ、シュガーが仲間たちと演奏するザディゴには、温かな大地の鼓動が響く。豊かな土地と文化は、自由奔放な魔力となって、二人の女性の傷ついた心に生気を蘇らせていった。自分の悲劇にとりつかれていたメイ・アリスはやがて、シャンテルが過去に麻薬中毒になり、そのために最愛の娘と引き離されていることを知る。その時初めて、二人はお互いを人生の再スタート地点に立ったパートナーとして認め合うのだ。

“パッション・フィッシュ”に願いをかければ 愛する人に逢える

メイ・アリス役には、「ダンス・ウィズ・ウルブズ」と本作で2年連続アカデミー主演女優賞にノミネートされたメアリー・マクドネル。シャンテル役には、2度のエミー賞に輝くアルフレ・ウッドワード。その他、ジョン・セイルズ作品の常連デヴィッド・ストラザンがレニーを、「グリッドロック」で監督デビューしたヴォンディ・カーティス・ホールがシュガーを、それぞれ魅力的に演じている。光溢れるルイジアナ南部を流麗なカメラ・ワークでとらえた、名手ロジャー・ディーキンズや、地域色豊かなサウンドトラックを提供したメイソン・デアリングの役割も大きい。

“パッション・フィッシュ”とは、セイルズ監督が考えたオリジナルのおまじない。大きな魚の胃袋に入っていた小さな魚を握り、愛する人のことを思えば願いがかなうという。レニーが二人の女性を励ますシーンで登場するが、この小さな魚には彼女たちの深い祈りが込められている。（1992年/アメリカ/カラー/135分）

11月27日(土)ロードショー! (12/17まで)

前売鑑賞券絶賛発売中! 一般1,500円(当日一般1,800円の外)

※劇場窓口、チケットぴあ、ローソンチケット、主要プレイガイドにて発売中!

各回入替制/ 連日 10:40 1:25 4:10 6:55

梅田スカイビルタワーイースト4F 06(6440)5977

梅田 **ガーデンシネマ**

